【資料６】特別支援学級等　学習指導案の形式例

〇〇〇〇学級（知的）　〇〇科学習指導案

「知的」「自閉症・情緒」等を明記

指導者：〇〇〇〇（T1）
△△△△（T2）

１　単元名（題材名）　〇〇〇〇〇〇

育てたい力がわかり，児童生徒の興味関心を高めるもの。
児童生徒が活動をイメージしやすい表現にする。

２　単元（題材）について

（１）児童生徒観　※学級やグループ等全体の実態と課題

〇単元に対する児童生徒の認識や学習経験などを具体的に記述する。
- 学級の実態や児童生徒の学年，人数（個人が特定できないよう配慮する）
- 本単元に係る日常生活や学習の様子（本単元とのかかわり）
- 興味関心・意欲・知識技能・態度・習慣等の諸能力
- 現在の課題　　等

児童生徒の実態

（２）単元（題材）観

〇単元に対する考え方，育てたい力等について具体的に述べる。
- 単元の意義（選定理由），単元におけるねらいを明確にする。
- 既習事項や現在の課題との関連
- 単元を学習することにより期待される効果，指導仮説
「〇〇を学習することにより，△△（期待する児童生徒の姿）になる」
- <u>学習指導要領の内容に照らした内容を記載する。</u>
- <u>各教科等を合わせた指導を実施する場合は，合わせた教科等それぞれの育成を目指す資質・能力を明確に示す。</u>

だから、この単元を設定して

（３）指導観

〇児童生徒観，単元観との関連から，児童生徒が主体的に取り組めるよう，指導内容や指導上の手立てについて具体的に述べる。
- 指導内容や意図，教師の願い
- 指導形態，学習環境，指導方法の工夫，協力体制
- 教材教具の工夫，具体的な支援の手立て，指導上の留意点

等

このように
指導する

３　単元（または題材）の目標

〇単元の中心となる活動を通して，何を目指すのか。**児童生徒につけたい力を具体的，簡潔に表現する。**

（例）「〇〇（中心となる活動）をとおして，△△（学習内容・方法の獲得）をすることができる」

①～できる　　【知識及び技能】
②～できる　　【思考力，判断力，表現力等】
③～しようとする【学びに向かう力，人間性等】

・学習指導要領で示された目標及び内容を踏まえて設定する。
・評価の観点は，基本となる観点または，小中学校の各教科等に準ずる観点を明示する。
・必ずしもすべての観点を踏まえた目標を記述するということではない。

〇自立活動においては，個々の児童生徒の障害による学習上または生活上の困難を主体的に改善・克服することを目標にしているため，必然的に指導目標や内容も一人一人異なる。そのため，全体の目標ではなく，一人一人に応じたそれぞれの指導目標（ねらい）を記述する。**選定した自立活動の内容（６区分２７項目）を【　】内に記入する。**

４　本単元における児童生徒の実態及び個別目標

児童生徒名（アルファベット）	単元（または題材）に関する実態	単元（または題材）の個別目標
A （2年）	＊単元に関する実態について，単元の目標との関連で表記する。 ・現在できていること，得意な部分 ・配慮する必要がある課題等	＊左記の実態から引き出された個別の目標を具体的に示す。 ＊実態からなぜその目標が設定されたのか必然性があること。

５　指導計画（□時間扱い）

時	主な学習活動と内容	評価の観点 〇評価の観点【評価規準】（評価方法）
	＊児童生徒の実態に合わせて，各時間の学習内容を計画する。 ＊単位時間ごとの主な活動を記述する。 ＊本時について，（　　）書きや太線で囲む等，分かりやすく表示する。	＊評価の総括に生かすための評価（〇で記載）だけでなく，指導者が指導の改善に生かすための評価（●で記載）も計画する。 ＊学習活動に対する評価規準を記述する。 ＊評価項目は１時間につき１～２つに絞る。

	評価の観点の文末は、 「知・技」　　→～している 「思・判・表」→～している 「主体的態度」→～しようとしている	＜評価規準＞ ①知識・技能 ②思考・判断・表現 ③主体的に学習に取り組む態度 （例） ○～している【知】（発言） ○～しようとしている【主】（観察）

６　本時の指導（□／□）

単元の目標と指導計画との整合性を図る。

（１）目標

・単元の目標を達成するために，本時の授業で，学級全体でねらうことを具体的に記述し，学習活動を焦点化する。

（２）個別の目標

	実態	目　標	手立て
A	＊本時の目標に関わる得意な部分，できていること，課題等を記述する。	＊単元全体の目標と左記の実態と対応した目標を記述する。できていることをさらに伸ばす目標，課題となっている事柄に取り組む目標の両方を書けるとよい。 ＊**抽象的な表現は避け，評価がしやすい目標にする。**	＊目標を達成できるようにするための具体的な手立てを記述する。 ＊実態により，必然的に手立ても一人一人異なる。 ＊活動中，予想される行動に対する支援方法を記載してもよい。 （例） ・活動の継続が難しいときのために別の部屋を用意し，事前に伝えておくようにする。

（３）展開

時配	学習活動と内容	指導の手立てと支援内容 （○指導上の留意点　◎個別の支援 ☆評価【評価の観点】(評価方法)）	資料
	（例）主語は児童生徒 ・～する。 ・～を考える。 ・～を発表する。　等	＊一人一人の反応を予想し，指導の手立てや支援内容を具体的に記述する。 （例）主語は教師 ○～のために，…する。 ○～できるように，…する。 ○～のとき，「　　」と言葉をかける。 等	

支援の目的が分かるように書く。

	＊学習過程に沿って，児童生徒が学習する内容・活動を簡潔に記入する。 ＜導入＞ ・児童生徒の経験や既習の知識を理解したり，児童生徒の興味関心などを呼び起こしたりする学習の動機づけを工夫する。 ＜展開＞ ・児童生徒一人一人が十分に思考し，自ら活動できるような活動にする。 ＜まとめ＞ ・評価や振り返りの時間を設け，本時の学習の成果や課題を整理する。	＊個別の支援として◎で表記した場合には，対象児を明記する。 （例） ◎事前に報告の仕方を確認し，困っている様子があるときには「どうしましたか。」と言葉をかける（Ａ児）。 ＊児童生徒の主体的な活動を引き出すという視点をもち，文末は使役動詞「～させる」とせず，「～できるようにする」等の表現にする。 ＊Ｔ.Ｔ.で指導する場合，役割を明確にし，文末に（Ｔ１）（Ｔ２）と記述する。 ＊評価の文末表現 ☆「知・技」「思・判・表」→～している ☆「主体的態度」→～しようとしている ＊評価方法の例 ・行動観察　・発言 ・ワークシート　・ノート分析　等 （例） ☆～している【知】（ノート） ☆～しようとしている【主】（観察）	

（４）配置図・板書計画

・活動が中心の学習では，活動場所の配置図を記述する。

・場の構造化がなされているか，動線が安全かつ効率的かを配慮する。

【参考資料】

〇特別支援学校学習指導要領解説

〇特別支援教育指導資料（千葉県教育委員会）

〇学習指導案データベース（千葉県総合教育センターHP）